

<p><b>第 1 回</b> 平成 29 年 5 月 28 日 (日) <b>岸見 一郎</b> 哲学者</p> <p>「よく生きるということ」 ～「いのち」の価値～」</p>		<p>昭和 31 年京都府生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程満期退学(西洋哲学史専攻)。専門の哲学に並行して、アドラー心理学を研究。京都教育大学教育学部、甲南大学文学部、奈良女子大学文学部非常勤講師などを経て、現在、京都聖カタリナ高等学校看護専攻科(心理学)非常勤講師。著書に『嫌われる勇気』『幸せになる勇気』『生きづらさからの脱却 アドラーに学ぶ』『アドラー 人生を生き抜く心理学』など多数。</p>
<p><b>第 2 回</b> 平成 29 年 7 月 25 日 (火) <b>安田 一之</b> 大阪学院大学教授 臨床心理士</p> <p>「つなぐ ～あなたが今つなごきたいものは何だろうか～」</p>		<p>昭和 21 年京都府生まれ。鳴門教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了。比叡山高等学校、大阪学院大学高等学校の教諭を経て、現在、大阪学院大学教授。専門は臨床心理学・教育学。臨床心理士。約 30 年間、自殺予防を主な目的とした電話相談員をボランティアで務める。教育現場における心理的問題や自死・自殺問題に関心を持ち、「コラージュ療法」を自死遺族のグリーフワークなどに応用実践している。著書に『心の教育とカウンセリング』(共著)。</p>
<p><b>第 3 回</b> 平成 29 年 8 月 18 日 (金) <b>釈 徹宗</b> 相愛大学教授 如来寺住職 NPO 法人リライフ代表</p> <p>「仏教が語る<sup>いのち</sup>生命」</p>		<p>昭和 36 年大阪府生まれ。相愛大学人文学部教授。博士(学術)。浄土真宗本願寺派如来寺住職。NPO 法人リライフ代表。日本宗教学会評議員。日本仏教会理事。宗教思想や宗教文化の領域において、比較研究や学際研究を行っている。著書に『ブッダの伝道者たち』『死では終わらない物語について書こうと思う』『落語に花咲く仏教 宗教と芸能は共振する』など。</p>
<p><b>第 4 回</b> 平成 29 年 10 月 6 日 (金) <b>若松 英輔</b></p>	<p>( 今 回 募 集 )</p>	
<p><b>第 5 回</b> 平成 29 年 10 月 27 日 (金) <b>本郷 由美子</b></p>	<p>( 今 回 募 集 )</p>	
<p><b>第 6 回</b> 平成 29 年 11 月 24 日 (金) <b>川島 実</b> 医師 華厳宗僧侶</p>		<p>昭和 49 年京都府生まれ。京都大学医学部在学中にボクシングでプロデビューし、平成 12 年度西日本新人王。京都大学卒業、プロボクサー引退後、自給自足を目指して山奥で暮らした時に僻地医療と出会い、その後も居を転々としながら救急、地域医療を学ぶ。平成 23 年、東日本大震災をきっかけに気仙沼市立本吉病院院長。被災地で在宅診療を軸に地域医療を再建する。その後、東大寺で得度し、奈良でフリーの医師として暮らしている。</p>
<p><b>第 7 回</b> 平成 30 年 1 月 12 日 (金) <b>佐々木 慈瞳</b> 音羽山観音寺副住職</p>		<p>中央大学卒業、早稲田大学大学院人間科学研究科修了。中央大学の事務局で 10 年間勤務の後、高野山真言宗と融通念仏宗で得度し、音羽山観音寺副住職となる。その他、奈良県教育委員会スクールカウンセラー、奈良県総合医療センターがんサポートチーム心理士、西奈良中央病院緩和ケア病棟臨床宗教師として活動している。東北大学大学院の臨床宗教師研修 2 期生。</p>
<p><b>第 8 回</b> 平成 30 年 3 月 4 日 (日) <b>名越 康文</b> 精神科医 相愛大学客員教授 高野山大学客員教授</p>		<p>昭和 35 年奈良県生まれ。近畿大学医学部卒業後、大阪府立中宮病院(現：大阪府立精神医療センター)にて、精神科救急病棟の設立、責任者を経て、平成 11 年に同病院を退職。その後も臨床に携わる一方で、テレビ・ラジオでコメンテーター、映画評論など様々な分野で活躍中。専門は思春期精神医学、精神療法。</p>

(敬称略)